

石神井松の風文化公園拡張整備に関するサウンディング調査の結果について

石神井松の風文化公園を拡張し新たにスポーツ施設を整備するにあたり、公民連携による整備の事業手法などについて、民間事業者の皆様との「対話」を実施いたしましたので、その結果を公表いたします。

1 サウンディング調査について

(1) 実施スケジュール

令和5年3月24日（金）	サウンディング調査実施要領の公表
令和5年3月31日（金）	エントリーシート、守秘義務誓約書 提出期限
令和5年4月19日（水） ～5月2日（火）	個別対話の実施

(2) 参加事業者数

4社（造園1社、スポーツ3社）

2 結果概要

● PPP/PFI 等導入の可能性の有無及び課題について
<ul style="list-style-type: none">・整備できる面積が狭く、既存公園が風致を保全する環境であることから、整備内容についても限られるため、PPP/PFI 等の導入は困難ではないか。・既存公園部において、指定管理者制度を導入していることから、当該地においても同様に、管理運営していくことが望ましい。
● 整備内容について
<ul style="list-style-type: none">・近隣住民の方々や関係団体との協議を踏まえつつ、利用ニーズに合った整備を行っていくことが重要。・植栽帯等を設けて、みどりを多く整備する。・複数施設を設けるより、魅力的な施設を一つ設置する方が特徴のある公園となると感じる。・スケートボード以外のアーバンスポーツなどもできる施設の設置もよいのではないか。

今回の調査結果を踏まえ、整備内容や事業手法について検討を進めてまいります。